

# 事例 45 思考展開シート

## (1) 疾病や薬の副作用等の影響は考えられますか？

・日中ぼんやりと過ごすことが多い。

【質問】

「日中ぼんやりと過ごす」ことに影響していると考えられるのは、具体的にはどのようなことですか？

【回答】

周囲の時間の流れの早さ。  
決められた時間の中での生活。  
その中で自ら何をしたいのか分からない。  
また、それらについての関わりも少ない。  
趣味や何かできることの再現をする場が少ない。

## (2) 身体的痛み、便秘・不眠・空腹等による苦痛の影響は考えられますか？

・夕方に空腹感があるのだろうか。

【質問】

なぜそう思ったのですか？

【回答】

夕方になると、それまでほとんど関心を示さない食事についての話をすることがある。

## (3) 悲しみ・怒り・寂しさ等の精神的苦痛、また本人の性格等の影響は考えられますか？

・帰りたいたいに帰れない。  
・自分で出口を見つけられない不安や混乱。

【質問】

「出口」とは、ただ家の出口を探していると思いませんか？

【回答】

自分の現在の生活からの出口でもあるのではないかと。

## (4) 音・光・味・臭い・寒暖等感覚的な苦痛を与える刺激の影響は考えられますか？

・職員や他利用者の声が響いて聞こえること。  
・自分だけのためではない温度設定。  
・自分とは関係なく進んでいく周囲の会話。

### 本人の言葉や状態

ワークシートC- に書いた、本人の言葉や行動を書き出し、関連のありそうな情報を整理してみましょう。

・家に帰っているのとやらなければ。  
・表情険しい。  
・出口を探せない。  
・どこに行けばいいの？

## (5) 家族・介護者など周囲からの過剰、あるいは少なすぎる関わりの影響は考えられますか？

・自分でできることへの介護者の関与がある。  
・娘など家族の面会頻度。

【質問】

「娘など家族の面会頻度」をどうすれば良いと考えていますか？

【回答】

もう少しお互いに顔を合わせることができる時間が増えるとういことかと思う。

## (6) 障害程度・能力の発揮に対して、住まい・器具・物品等物的環境による影響は考えられますか？

・家庭とかけ離れた環境（広すぎる）。  
・見慣れない（なじみのない）物品の使用。

【質問】

「家庭とかけ離れた環境（広すぎる）」を、具体的にはどのように家に近づけていくことができますか？

【回答】

なじんだ物を増やしていく。

## (7) 要望・障害程度・能力の発揮と、アクティビティー(活動)とのズレによる影響は考えられますか？

・日中ぼんやりと過ごすことが多い。  
・能力発揮の場がない。

【質問】

「能力発揮」は、具体的にはどのような能力を發揮できると思いますか？

【回答】

何かを任せられるということ、金銭管理、料理、清掃など。

## (8) 生活歴・価値観等に基づいた暮らし方と、現状とのズレによる影響は考えられますか？

・自営（商店）で生計を立てていた過去。

【質問】

「自営（商店）で生計を立てていた過去」から、具体的にはどのような影響が考えられますか？

【回答】

金銭管理の徹底。  
生活リズムを自らつくる。  
思ったら何かを行うということが自由にできずストレスになっているのではないかと。